

対談行事のおしらせ

東大・特撮

第四回「超兵器は人類を救えるか」

対談：遠藤秀紀・小川健司・喜多村 武

現実には見ることができない光景を創造し、表現するのが特撮の本質。ゆえにそこに強烈な物語が盛られ、映像作品が生み出されます。戦時、敗戦、復興、高度成長、バブル、デフレ、超高齢と、日本特異の心と社会を背景に、特撮は愛すべき歴史を歩きました。そこには、SF文壇の開闢、表現リアリティの追求、技術文明の深化、戦争の惨劇、核兵器の恐怖、大衆伝達の変容、合理主義経済の台頭、宇宙探査の夢、などの情勢が作品を取り巻いています。今日の主題は、「超兵器」。超兵器は、ときに作品世界に魅力をもたらし、ときに演出のお約束事を担い、ときに奢れる人類への警鐘そのものとして成立した“名優”といえます。第四回は、東京大学教授・遠藤秀紀（解剖学）、日本大学教授・小川健司（ウイルス学）、映像ディレクターの喜多村 武が、特撮を支える超兵器を真正面から語ります。

対象：一般成人

参加費は無料です。

協力：株式会社クインビーガーデン

参加申し込み

往復はがきに、1氏名、2年齢、3住所、4電子メールアドレス、5電話番号、6特撮映像作品への思い、の6項目を記入して、以下まで郵送してください。

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学総合研究博物館「東大・特撮」係

遠藤秀紀宛

申し込み締め切りは2020年4月8日（水）です。恐縮ですが、定員を超えましたら、抽選で受講者を選ばせていただきます。往復はがきの返信にて、参加していただけるかどうかのお返事をお送りします。

開催日時

2020年4月18日（土）

午後3時から午後4時30分

会場

東京都中央区築地4-5-4 築地しろくまビル4F 株式会社クインビーガーデン会議室

東京大学総合研究博物館ホームページ URL：<http://www.um.u-tokyo.ac.jp/>